

国保料 来年度も引き下げへ

一人平均6,228円 **2年連続** 市民運動実る

28年度の国保料を一人平均6,228円引き下げる市長の諮問案が、1月の国保運営協議会（運協）において可決されました。引き下げ額は不十分ですが、運協では委員全員が引き下げに賛成の意見表明をしました。

一万人を超える
引き下げ署名運動が力に

国保料引き下げを求める市民運動が請願署名数1万人以上を11月市議会に提出。日本共産党と緑の党が賛成し、自民・公明・新政会・静翔会・維新・「山と町」が反対して請願は否決されています。

しかし、運協では、市民運動の代表が低所得層の国保料負担の重さを陳述、運協の市民代表委員と日本共産党の委員が、61億円もの基金や18億円の予備費、黒字会計など活用すれば一人1万円以上の引き下げは十分可能だと繰り返し主張しました。議会では引き下げに反対した議会選出の委員も、運協では引き下げ賛成に変わりました。市民運動が議会と運協委員を動かして、2年連続国保料引き下げを实らせる力となりました。



11月議会、議長への請願署名提出



28年度の国保料モデル

	引き下げ額	国保料
所得 50 万円・1人世帯 (70 歳)	△3,300 円	43,300 円
所得 100 万円・2人世帯 (60 歳夫婦)	△11,200 円	172,200 円
所得 200 万円・3人世帯 (40 歳夫婦・子 1 人)	△21,700 円	316,900 円

(△は H27 年度比の年間引き下げ額)

高すぎる国保料を
さらに引き下げ
させよう！

今回、一般会計からの支援を9億円も減らしました。減らさなければ、一人一万円以上の引き下げはできませんでした。国保は低所得層が多く加入する社会保障です。なお高すぎて払えない国保料をさらに引き下げのために、今後も党市議団は市と県に、財政支援を求めていきます。